

メッセージ要約

タイトル「私たちの足を洗って下さる神」

イエス様は十字架にかかれる前夜、最後の晩餐において、弟子たち一人一人の足を洗われた。弟子の中には、イエス様を裏切ったイスカリオテのユダもいた。ペテロは「決して私の足を洗わないで下さい。」と言ったが、イエス様は「もしわたしが足を洗わなければ、わたしとあなたは何の関係もない」とおっしゃった。足とは、その人の歩みすべて、人生を表している。私たちの歩みは罪によって汚れている。イエス様は最も汚い私たちの足を洗って下さった。イエス様が弟子たちの足を洗われたことは、十字架での罪の贖いを表している。私たちと主との関係は、イエス様の十字架の贖いが土台である。イエス様は、神であられるお方であるのに、そのあり方を捨てることができないとは考えず、ご自分を無にして仕える者の姿をとって来て下さった。そして、十字架の死に至るまで私たちに仕えて下さった。神であられるお方が、私たちと同じ人間になって下さり、私たちの足を洗って下さった、私たちの罪の贖いのために十字架の上でいのちを捨てて下さった。何ということだろうか！このお方が、「わたしがあなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」とおっしゃられる。私たちのために、苦難の道、十字架の道を歩んで下さった主イエス様のことを思いながら、愛のうちを歩む者とされたい。